

7月24日(金)・25日(土)・26日(日) 山あげ行事を盛大に開催します!!

みんなの山あげ

第2号

烏山山あげ保存会
(事務局)
那須烏山市商工観光課
〒321-0692
那須烏山市中央1-1-1

ユネスコ無形文化遺産登録
国指定重要無形民俗文化財

当番 鍛冶町

令和八年度 山あげ祭

奉納余興開演予定時刻及び開演場所

順序	日	開演予定時刻	芸題	開演場所	方角	摘要
①	23日(木)	午後七時	三番 三橋	鍛冶町 サトウムセン前	西	笠揃
②	24日(金)	午前九時三十分	戻 橋	十文字 御飯殿前	西	天王建
③	24日(金)	午後二時三十分	戻 橋	泉町 青木商会前	南	訪問
④	24日(金)	午後六時	戻 橋	日野町 会所前	西	訪問
⑤	24日(金)	午後九時	将 門	鍛冶町 美与志堂前	東	
⑥	25日(土)	午前十時	将 門	金井町 烏章館(室内)	南	子供歌舞伎
⑦	25日(土)	午後二時三十分	戻 橋	仲町 会所前	南	訪問
⑧	25日(土)	午後五時三十分	戻 橋	元田町 会所前	西	訪問
⑨	25日(土)	午後八時三十分	将 門	鍛冶町 和紙会館前	西	記念撮影
⑩	26日(日)	午前十時二十分	戻 橋	金井町 JR烏山駅前	東	訪問
⑪	26日(日)	午後二時	戻 橋	金井町 山あげ会館前	東	特別公演
⑫	26日(日)	午後八時	戻 橋	鍛冶町 サトウムセン前	西	
⑬	26日(日)	午後十時	老松 関の扉	鍛冶町 サトウムセン前	西	笠揃

一、出御祭 七月二十四日 午前六時 出御 午前七時 神社出発
一、渡御祭 七月二十五日 午前六時 渡御 午前六時三十分 御飯殿出発
一、還御祭 七月二十六日 午後五時 還御 午後五時二十分 御飯殿出発
※右の開演時刻及び芸題は、都合により多少の変更があります。

今年度当番町 鍛冶町、準備進む

本番に向け準備に余念のない鍛冶町若衆団筆頭世話人の三森泰斗さんに、準備の状況や今年のお祭りの見所、七年前の当番と異なる点などを聞きました。

鍛冶町自治会総出で山張り

〔問い〕本番に向けた準備の状況は。
〔答え〕四月十二日と十四日の二日間に渡り、鍛冶町自治会の皆様に山の下地となる和紙を貼っていただいて、準備が一気に進みました。また、若衆団は週に二回、烏章館で作業をおこなっていて、七月五日に行うリハーサルにはなんとか間に合いそうです。



今年度の芸題は「戻橋」、 公演場所は十三場所

〔問い〕今年度の芸題と公演場所数は。
〔答え〕まず、芸題ですが「戻橋」を中心に「将門」も三回行います。また公演場所数は七年前は十七場所でしたが、今年は十三場所としました。その理由

はここ数年の山あげ期間中の暑さが半端では無くなってきていて、やる側と観る側に配慮し、一番暑い時間帯を避けた結果、十三場所になりました。

鍛冶町若衆団が描いた 山を自分たちであげる

〔問い〕七年前と昨今の暑さはちがうという事ですが、その他に特徴的な取組みはありますか。
〔答え〕一番の特徴は、山の描き手です。これまで、市内の絵師か町内の絵心のある方に頼んで描いてもらっていましたが、今回、鍛冶町若衆団が山を描くことです。幸いに私の会社の倉



庫が空いておりましたので、そこに、仕事が終わった若衆団が集まってきて描いています。

今年の見所は素晴らしい 踊りと若衆団の動き

〔問い〕最後に今年の山あげ祭の見所は。
〔答え〕鍛冶町は伝統的にキビキビとした若衆団の動きを大事にしてきましたので、踊りも素晴らしいですが、若衆団の動きにも注目していただきたいと思っています。

〔問い〕ありがとうございます。
〔答え〕ありがとうございます。

山あげ行事への 温かいご支援を お願いします

山あげ行事運営費の大半が皆様からのご寄付で賄われています。山あげ保存会は毎年、六月から七月中旬の期間にご寄付のお願いをしています。また、那須烏山市では「ふるさと納税型クラウドファンディング」を実施しております。ご協力を心よりお願い申し上げます。

◆山あげ保存会への寄付

山あげ保存会では一口一萬円の寄付を集めています。あらたに寄付をしていただける方、個人でも企業でもけっこうですので、左記までご連絡いただければ対応させていただきます。よろしくお願ひします。

那須烏山市商工観光課・観光振興グループ
☎0287-831115

◆ふるさと納税型 クラウドファンディング

ふるさと納税制度を活用して、納税額を山あげ行事の交通誘導警備費、暑さ対策費、シャトルバス運行費などの安全対策に充てる仕組みです。

○寄付募集期間
2026年5月20日～
同年8月17日

○詳しくは下記の
QRコードで
ご確認ください。



山あげ保存会の活動

祝 市制二十周年事業 南那須地区で 初めて山あげ行われる

那須烏山市は昨年、旧南那須町と旧烏山町が合併して二十年の節目を迎えました。これに伴い、市では年度当初から市制二十周年実行委員会を立ち上げ、事業のあり方を検討してきました。山あげ保存会としましては、合併後も合併後も一度も南那須地区で山あげ行事を行ってこなかったため、昨年度実行委員会に当番町筆頭世話人と保存会会長が委嘱されており、南那須地区での山あげをお願いし、予算化もしていただき、去る十一月二十三日に市保健福祉センターと南那須図書館の間の路上で山あげを実施いたしました。



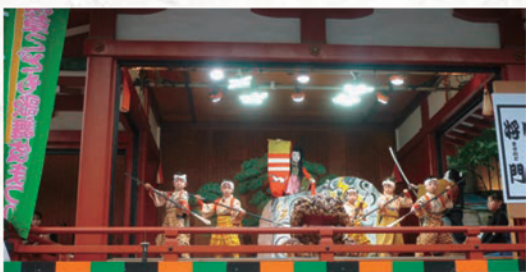
当日は曇り空でしたが風もなく絶好の山あげ日和となり、大屋台及びはりか山と道具を昨年当番の泉町がフルセットで会場に持ち込み、全町の若衆が参加して本番さながらの山あげが行われました。また、山あげに先んじて旧南那須町で古くから行わ

れている「塙の天祭」も山あげの舞台で小中学生により演じられました。また、商工会まつりも初めてこの会場で行われ、多くの人で賑わいました。



第17回「浅草こども歌舞伎まつり」に芸能部会が出演

東京浅草の「浅草こども歌舞伎まつり」に今年も芸能部会の小中学生10名を含む総勢43名で参加をしました。



当日は小雨の降る天候でしたが、浅草・浅草寺の隣の浅草神社の境内で、大勢の海外の観光客をはじめ大勢の観衆が集まった中、芸能部会の子ども達「口上」と「将門」を披露し、大きな拍手をいただき、とても嬉しかったです。全国というより全世界から観光客が集まる浅草で、山あげ行事をPRする貴重な機会となりました。

芸能部会 西塩子の回り舞台に 招かれる

那須烏山市と県境で接している、茨城県常陸大宮市西塩子地区で、古くから行われてきた、茨城県有形民俗文化財に指定されている伝統行事「西塩子の回り舞台」が、六年ぶりに行われ、昨年十月二十五日に山あげ保存会芸能部会が招かれました。

当日は、小雨の降る中でしたが、大勢の観衆の前で、小学生から大人までの芸能部会の面々が「蛇姫様」を演じ、大人顔負けの子ども達の演技にたくさんの拍手をいただきました。「西塩子の回り舞台」は江戸時代から続く、組立て式の農村歌舞伎舞台で、真竹と木材合わせて五〇〇本以上を組んで舞台を作り、そこで歌舞伎や浄瑠璃を演じていたそうです。

しかし、あまりに巨大なドーム状の組立て屋根など、かなりの人手がかかるため毎年開催されず、この度、六年ぶりに舞台が作られたようです。

この日も、すっかりお稽古してきた芸能部会の演技は、他の出し物を圧倒するものがありました。



令和8年度 山あげ祭フォトコンテスト 山あげ俳句全国大会のお知らせ

今年も山あげ祭に関する、フォトコンテストと俳句大会を実施します。詳しくはQRコードをご覧ください。



令和7年度 フォトコンテストの結果

昨年のフォトコンテストには百二十点の応募があり、最優秀賞一点、特選二点、準特選三点など、全三十三点が選ばれ、次の作品が最優秀賞に輝きました。

〈最優秀賞〉

題名「ガマの妖術使い、深山の彼方に」

古川 靖史さん



令和7年度 山あげ俳句全国大会の結果

昨年は六八四点の応募があり、山あげ俳句全国大会実行委員会が審査を実施し、小学生の部と中学生の部で次の俳句が選出されました。

〈小学生の部〉

山あげのぶたにいつかたちたいたいな

烏山小二年 村田 真虎さん

ひまわりにぼくのしん長ぬかされた

烏山小三年 水沼 優斗さん

山あげのかなぼうひきはしまもんべ

烏山小五年 小口 叶うさん

〈中学生の部〉

山あげや見慣れた町が輝く日

烏山中二年 石井 陽莉さん

木頭の凛々しき顔よ山あげる

南那須中三年 黒須 結葉さん

山あがりついに本番帯締める

烏山中三年 大貫和佳子さん

〈題字〉芸能部会・吉川和穂さんの揮毫